

この人 むつちゅう星

下北ジオパーク推進協議会副会長
JAMSTECむつ研究所研究員
理学博士

渡邊修一さん



都会で生まれ育ったからこそ感じる下北半島の素晴らしさ。下北ジオパーク推進協議会の副会長として、下北ジオパーク構想の初期段階から尽力されている渡邊さんは、神奈川県川崎市のご出身です。東京工業大学・大学院時代は地球化学を、北海道大学で助手を勤められた時代には海洋学を研究された、まさに下北ジオパークに無くてはならない方です。

「誰でもそうですが、地元の良さというのとは外に出て始めて気づくということが多いと思います。地元にいる人は、自分たちが本当はすごい地域に暮らしていることになかなか気づかない。そんな方でも、ジオパークを通して、下北の良さを感じて世の中に発信してくれるようになれば良いと思うんです。ジオパークというのはそのためのひとつの手段であって、でもこれが下北まるごとを日本や世界中に知ってもらう一番の近道だと思います。日本の成り立ちがちょっとした範囲で全部見られるのは下北だけで、私はまさに「まるごと日本」と思いますね。」

東通村の山の風景と、薬研や風間浦村の山の風景は違うと思いませんか？ そう思うと、確かに東通村には温泉がそんなに無くて、薬研や風間浦村にはたくさんあるな、となっていく。食材が四季折々おいしいのも、地形が成す技ですよ。今の時期は、ミズとホヤの組み合わせなんか美味しいじゃないですか。

私は、10人が半日いるよりも、1人が10日間あるいは10回来てくれる下北になれば良いと思っています。それだけの材料がここにあるんですから。なんだか、ジオパークの話になると止まらないね。」

温泉さながらに熱い思いを語ってくださいました渡邊さん。

さあ、ジオパーク、1周年です。



- ① 第25航空隊の食堂の様子。
- ② 約200名分のカレーを用意している。
- ③ 第25航空隊の特徴、7種類の炒ったスパイスと、真っ黒になるまで揚げたニンニクで作る「マー油」
- ④ もちろんここでも、野菜やタンパク質をしっかりと摂取するよう献立が組まれている。



広報むつが行く!! 第2弾 潜入!! 大湊航空基地 JMSDF OMINATO AIR BASE 第25航空隊の昼ごはん

本来海上自衛隊の隊員しか食べられない秘伝のカレーを誰でも味わえることから話題を呼んでいる「大湊海自カレー」。今回は、海上自衛隊に全面協力していただき、海上自衛隊第25航空隊の昼ごはんを潜入リポートします。

第25航空隊の大湊海自カレーは「むつドライブイン」にて食べることができます!

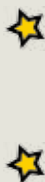
隊員に聞いてみました!!

根岸孝明 海士長



第25航空隊のキーマカレー、とても美味しいですよ。今日は温泉卵が付いてましたから、カレーに落としてまるやかに。

これで午後からもがんばれます。



うちのカレーの特徴は、炒った7種類のスパイスと自家製マー油です。スパイスは前日から炒っておくことでほどよく辛さが抜け、コクが増します。

女性も多い航空部隊ならではの、辛さをひかえたマイルドな味は、お子様も喜んで食べていただけると思います。

給養員長に聞いてみました!!

武石紀元 給養員長

